

平成 20 年度豊岡市震災総合防災訓練実施要項

1 趣 旨

今から 83 年前の大正 14 年 5 月 23 日、円山川河口付近を震源地として北但大震災が発生したことにより、本市は甚大な被害を受け、さらに、平成 16 年の台風 23 号では、大水害に見舞われた。このことから、災害の経験と教訓をいつまでも忘れないため、また、近年、大規模な災害も各地で多発していることから、災害時には、より適切な対応が図れるように防災訓練を実施する。

2 訓練想定

- (1) 北但馬地域を中心に震度 6 強の大地震が発生し、豊岡市日高町において甚大な被害が続発、多数の家屋が倒壊するとともに火災も発生している。また、沿岸部では津波への警戒が必要である。日高地域以外（豊岡、城崎、竹野、出石、但東）では、被害は発生しているものの比較的少ないため、特に被害の甚大な日高地域への支援を集中的に行う。
- (2) 豊岡市災害対策本部は豊岡市役所本庁 2F 防災安全課フロアに、また日高地域災害対策本部は日高総合支所内に、現地災害対策本部を被害の大きい日高町西芝地区内に置く、との想定で訓練を実施する。訓練では、豊岡市災害対策本部、日高地域災害対策本部、現地災害対策本部をいずれも訓練会場内にそれぞれ設置する。

3 実施日時 平成 20 年 5 月 31 日（土）午前 9 時 30 分～12 時 00 分

4 実施場所 豊岡市日高町西芝 円山川防災センター及びその周辺

5 主 催 豊岡市

6 参加機関

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 豊岡市（災害対策本部員、各部員、市消防本部） | 130 名 |
| (2) 豊岡市日高消防団（8 分団×5 名） | 40 名 |
| (3) 豊岡市各消防団（豊岡、城崎、竹野、出石、但東） | 25 名 |
| (4) 日高地域自主防災組織（70 地区×2 名） | 140 名 |
| (5) 府中小学校（教職員・児童） | 242 名 |
| (6) 陸上自衛隊第 3 特科隊 | 30 名 |
| (7) 第 8 管区海上保安本部（美保航空基地、香住海上保安署） | 10 名 |
| (8) 国土交通省豊岡河川国道事務所 | 10 名 |
| (9) 兵庫県但馬県民局 | 5 名 |
| (10) 兵庫県消防防災航空隊 | 5 名 |
| (11) 朝来市消防本部 | 3 名 |
| (12) 養父市消防本部 | 3 名 |
| (13) 美方広域消防本部 | 3 名 |
| (14) 豊岡南警察署 | 20 名 |
| (15) 全但バス | 3 名 |
| (16) (株)エフエムたじま | 3 名 |
| (17) 関西電力(株) | 10 名 |

(18) N T T 西日本	5 名	
(19) 豊岡生コンクリート協同組合	3 名	
(20) 日高建設会	10 名	
(21) 豊岡市社会福祉協議会	10 名	
(22) 日赤奉仕団	10 名	
(23) マックスバリュ西日本株式会社	3 名	
(24) 公立豊岡病院	3 名	<u>合計：726 名</u>

7 訓練項目(は、新しい訓練)

主要訓練項目

- (1) 各機関の初動対応
- (2) 災害対策本部の立ち上げ、運営
本庁・総合支所における災害対策本部の立ち上げと本部間の連携
現地災害対策本部の立ち上げ
- (3) 各関係機関の連携

詳細訓練項目

- (1) 広い市域の中で、災害が発生した際の本庁・総合支所間の連携(情報・応急活動)
- (2) 防災無線を利用しての市民への情報伝達訓練
- (3) 竹野海岸及び港地区における津波警報サイレンの吹鳴
- (4) 自主防災組織による応急担架の作成及び災害時要援護者の搬送訓練
- (5) 府中小学校の教職員による避難所開設訓練
- (6) 医療関係者による応急救護所設置・運営訓練
- (7) 関西電力・N T Tによるライフライン復旧訓練
- (8) 全但バスによる避難者及び負傷者搬送訓練
- (9) 消防相互応援協定に基づく災害応援訓練
- (10) 日高建設会による障害物除去訓練
- (11) 豊岡市社会福祉協議会による災害時要援護者避難支援訓練
- (12) 海上保安庁ヘリコプターによる高所からの救出訓練
- (13) 兵庫県消防防災航空隊ヘリコプターによるヘリテレ画像伝送、情報収集及び負傷者搬送訓練
- (14) 市による緊急物資等の搬送訓練
- (15) 豊岡生コンクリート協同組合による消防水利確保訓練
- (16) 市水道課による水道応急復旧訓練
- (17) 災害時応援協定に基づく「マックスバリュ西日本株式会社」による緊急物資搬送訓練
- (18) 国土交通省・兵庫県但馬県民局による活動(災害対策車両による活動等)
- (19) 日赤奉仕団による炊き出し訓練
- (20) 防災グッズ等の展示

都合により、訓練項目等が変更になる場合があります。